

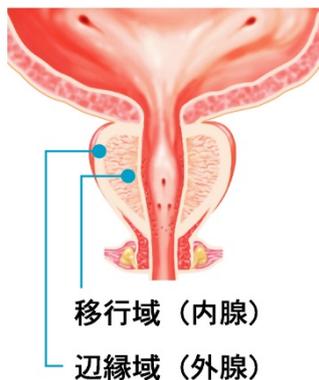
レーザーによる前立腺核出術(HoLEP)を受けられる方へ

仙台赤十字病院泌尿器科

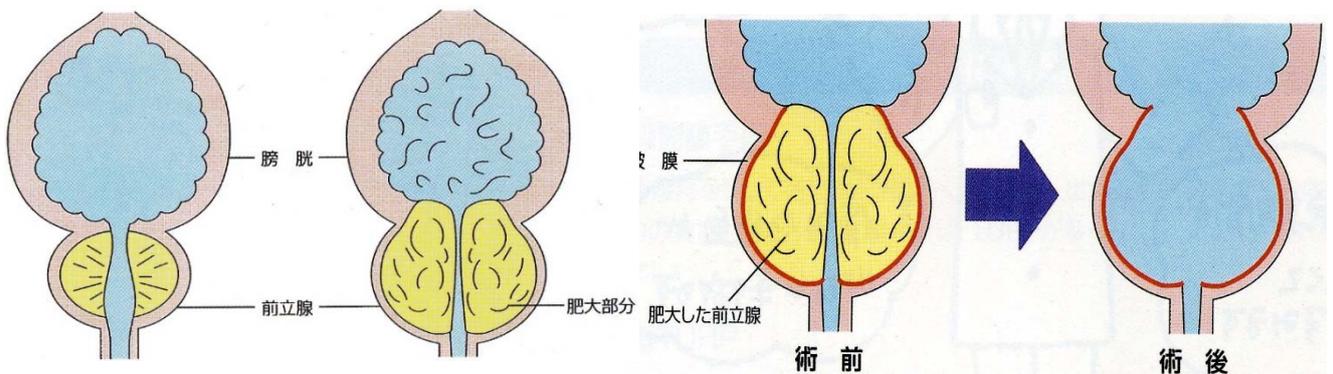
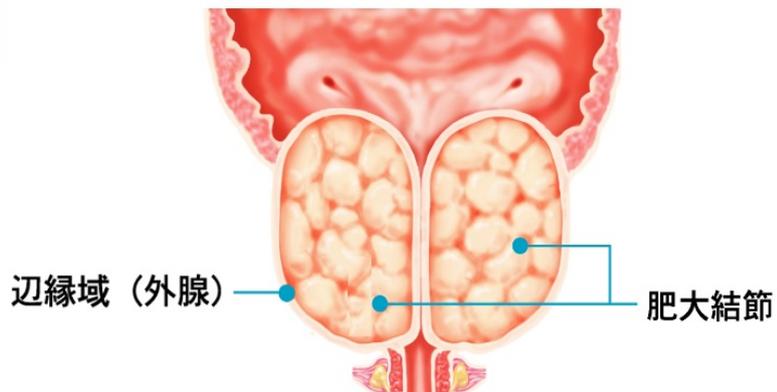
① 病名：前立腺肥大症

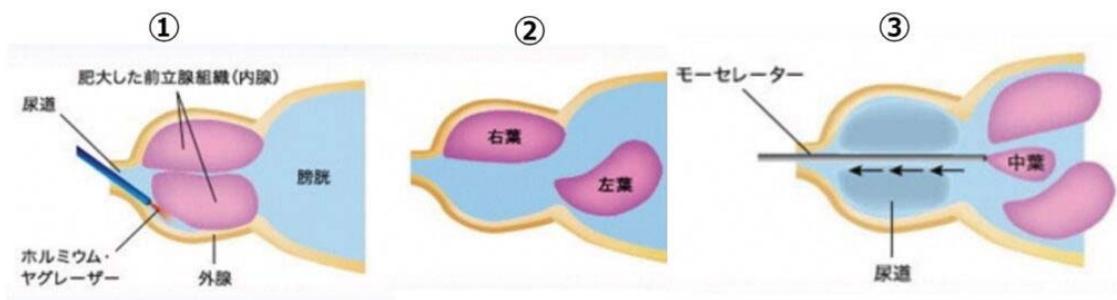
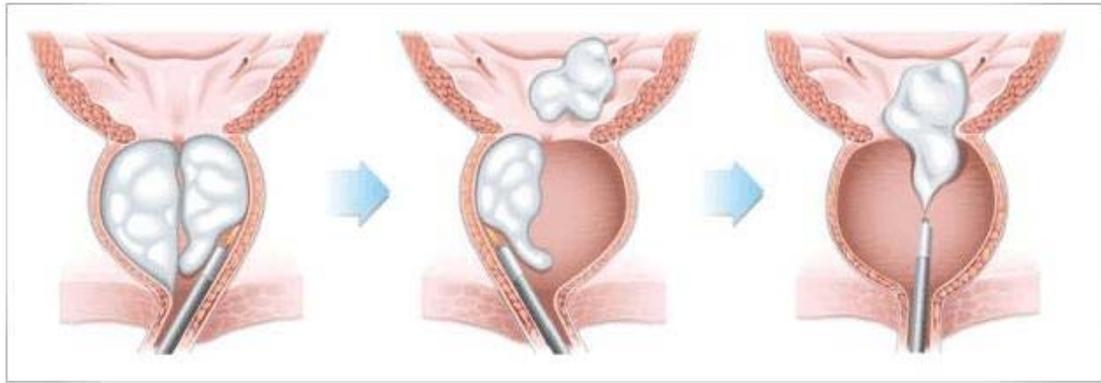
② 前立腺肥大症とは：40-50 歳頃より次第に前立腺が肥大し（内腺が肥大）、前立腺部の尿道が肥大した前立腺組織に圧迫され、尿の通りが悪くなります。頻尿、夜間頻尿、尿失禁、尿の勢いが弱くなるなどの症状が出ます。症状がひどくなると、残尿がみられるようになったり、尿閉になったりします。放置すると、水腎症、腎不全などになることもあります。

●正常な前立腺



●前立腺肥大

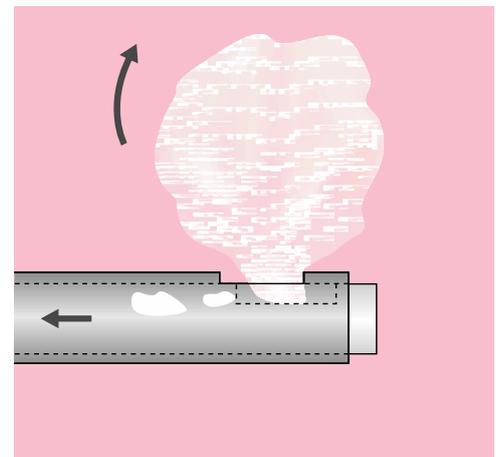




③ 手術時間：2～3 時間程度（前立腺の大きさによって異なります。）

④ 麻酔方法：全身麻酔、または腰椎麻酔で行います。

⑤ 手術方法：尿道から内視鏡を挿入し、レーザーファイバーを出し、モニターを見ながら前立腺の被膜を残して、くり抜きます。手術部がよく見えるように、灌流液という水で洗いながら行います。



膀胱内へくり抜かれた前立腺は大きいため、尿道からそのまま摘除することはできません。モーセレーターという器具を用いて前立腺を膀胱内で細かくしながら吸引摘除します。

⑥ 手術に伴う合併症

●被膜穿孔：前立腺被膜を削ってしまうことです。出血や電解質異常を生じる懸念があるため手術を早く終了します。

●膀胱損傷：くり抜かれた前立腺組織をモーセレーターを用いて細断する際

に膀胱壁を傷つける事があります。膀胱留置カテーテルを長めに留置することがあります。

●**血尿**：術後軽度の血尿がみられます。程度が強い場合には手術室で止血を行わなければならないこともあります。HoLEP は出血が少ない手術ですが、稀に輸血が必要となることがあります。

●**後出血**：術後2週間くらいすると、かさぶたがとれて突然血尿が生じることがあります。これは通常は2～3日で消失しますが、濃い血尿が続くときはすぐに来院して下さい。

●**尿路感染症、精巣上体炎**：術中より抗生剤を予防投与して対処します。

●**尿失禁**：尿道括約筋の損傷や、もともと膀胱尿道機能障害がある場合に起こることがあります。

●**逆行性射精**：射精の際、精液が膀胱内に流入してしまうことです。射精される精液量が減ってしまいますが、健康上問題はありません。

●**尿道狭窄**：手術中の尿道への機械的刺激や炎症により生じることがあります。尿道の拡張処置をおこなわなければならないことがあります。

●**前立腺肥大症の再発**；5%くらいの割合で生じます。

●**その他**：予測し得ないことがもし生じた場合には早急に対応致します。

●**死亡率**：この治療による死亡率は0～0.5%、80歳以上の方は0～6.4%と報告されています。

⑦ 手術後の経過について

術後数日で血尿がおさまっていれば尿道カテーテルは抜去します。

術後当日はベッド上安静です。翌日より歩行可能です。

術当日夜から飲水ができます。麻酔の覚め具合によって当日夜または翌朝から食事ができます。

通常術後1週間程度で退院できます。

血尿がなくなるまでの2週間くらいの間は、お酒と激しい運動は避けるようにして下さい。